

すべての人が神の前に

(マタイ25・31～46)

きょうは一年に一度の、児童祝福礼拝です。児童祝福礼拝は、教会に連なる子供たちの祝福をお祈りする礼拝です。子供たちに合わせてお話をしますからです。

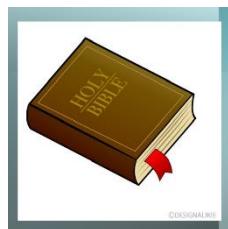
一、お母さんのお腹の中で育つ赤ちゃん
このイラストはお母さんのお腹の中で、赤ちゃんが育っている姿です。本当は、赤ちゃんは頭が下になつて育つので、この姿は逆子になります。ですが余り細かいところは、こだわらないでください。



二、生まれる前はどう? では皆さまに質問です。赤ちゃんは、生まれる前はどうか。ある人は考えました。「神さまのもとにいた」と。「神さまが一人ひとりのたましいを、おくってくれたので、赤ちゃんが生まれる」と。これは、ある童話で読んだことがあります。ヨーロッパの方が

三、聖書に聞く
聖書は特別な書物です。聖書の中に書かれている文字を実際に書いたのは、40名ほどの人間です。聖書を書いた人間の背後に、この宇宙を造られ、様々な動物を造られ、人を造られた神さまがおられました。聖書に、こう書かれています。創世記2・7 神である主は、その大地のちりで人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。それで人は生きるものとなつた。同じく聖書に、次のようにも書かれています。
イザヤ44・24(略) あなたを母の胎内で形造った方、主はこう言われる。「わたしは万物を造った主である。わたしはひとりで天を延べ広げ、ただ、わたしだけで、地を押し広げた」と。母の胎内とはお母様のお腹の中のことです。ということは、人のいのちは生まれる前からあつたのではなく、母親のお腹の中で造られたものである、と考えるのが、聖書が語っていることのよう

書いた童話でした。ほんとうでしようか? 答えは「私たちには分からない」だと思います。そういう時に教会は、聖書に聞きます。



書いた童話でした。ほんとうでしようか? 答えは「私たちには分からない」だと思います。そういう時に教会は、聖書に聞きます。

四、生まれてから死ぬまで

赤ちゃんが生まれると、成長します。

やがて、少年少女になります。ですが、悲しいかな、病氣になつて死んでしまうこともあります。

神の子イエスさまは、そういう死の力を退けて、少女を生き返らされたこともありました。

ですが、人はみないつか死にます。死んだらどうなるのでしょうか? これも私たち人間に分かりません。



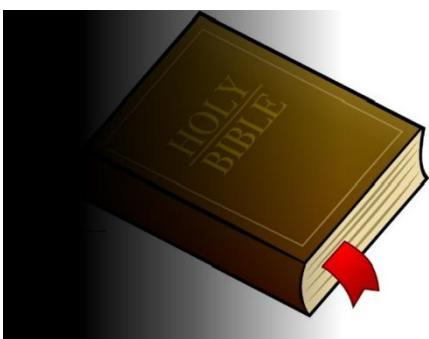
五、死んだらどうなるの?

死んだらどうなるのでしょうか?

こういうところに行くのでしょうか?

六、聖書に聞く

こちらも、聖書に聞く必要があります。聖書に、こう書かれています。ヘブル9・27 そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、と。文章の途中からの引用ですが、そういうことが書かれています。人は死んだら何もないのではなく、死んだ後に一人ひとりが神さまからさばかれます。





今から五百年ほど前に、イタリアのローマで、ミケランジェロが「最後の審判」と呼ばれている壁画を描きました。今でもあります。これはシスティーナ礼拝堂の天井に描かれています。この壁画を見ると、当時の人々が、死後のさばきを恐れていたことが分かります。自分がさばかれないために、生きているうちに良いことをしようと考えたことが分かります。当時の人々は聖書を持つていなかつたので、聖書に書かれている、イエス・キリストを信じることによる罪の赦しが分からなかつたようです。



八、イエス・キリストを信じた人
イエス・キリストを信じた人は、次のようにになります。イエスさまは、神さまを信じている人に次のように語られました。『マタイ25・35～36あなたがたは

はわたしが空腹であったときに食べ物を与えて、渴いていたときに飲ませ、旅人であったときに宿を貸し、わたしが裸のときに服を着せ、病氣をしたときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれた。』と。すると、そのように言われた人々は、次のように語ります。『マタイ25・37すると、その正しい人々たちは答えます。『主よ。いつ私たちはあなたが空腹なのを見て食べさせ、渴いているのを見て飲ませて差し上げたでしょうか。』と。実はこのように答えているのは、イエス・キリストをほんとうに信じた人たちです。自分が行つた、神さまに喜ばれることを忘れているのです。皆さも、イエスさまを信じて、こういう信仰者になつてください。きょうのお話はここまでです。

きょうの視覚教材は
いのちのことば社
CS成長センター
『成長』No.170、
186、189、191
より引用しました。
その他は、ネットの
フリー素材と、ウィ
キペディアより引用
しました。

© CS成長センター